

令和7年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ来さまい館、むつ下北観光物産館、むつ市イベント広場	
指定管理者	団体名	むつ商工会議所
	代表者	会頭 内田 大輔
	所在地	むつ市柳町1-10-25むつまちなかオフィス1F
指定期間	令和3年 4月 1日 ~ 令和8年 3月 31日 (5年間)	
指定管理業務の概要	<p>(1)むつ来さまい館</p> <p>ア 産業の振興、中心市街地の活性化及び市民等の交流促進に関する事業。</p> <p>イ 地域振興に関する資料の収集、保管及び利用並びに情報の発信に関すること。</p> <p>ウ 館の施設提供に関すること。</p> <p>エ アからウまでに掲げるもののほか、館の設置目的を達成するために必要な業務。</p> <p>(2)むつ下北観光物産館</p> <p>ア 観光施設の案内、宿泊施設の紹介その他の観光情報の収集及び提供に関すること。</p> <p>イ 地場製品の展示並びに情報の収集及び提供を行うこと。</p> <p>ウ その他観光、物産充実振興上必要な業務。</p> <p>(3)むつ市イベント広場</p> <p>ア 市民の文化活動、休憩、集会等の用に供すること。</p> <p>(4)上記のほか、各施設に共通すること。</p> <p>ア 各施設の使用許可または使用の制限に関する業務。</p> <p>イ 各施設の使用に係る利用料金収受に関する業務。</p> <p>ウ 各施設の維持及び修繕に関する業務。</p> <p>エ その他、各施設の管理上必要な業務。</p>	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

(単位：千円)

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	71,193	78,516	7,323
うち利用料金額	8,297 <small>※賃料含まない</small>	5,763 <small>※賃料含まない</small>	△2,534
うち指定管理料	55,300	61,253	5,953
支出合計 (B)	71,193	68,254	△2,939
うち人件費	26,926	21,200	△5,726
収支差 (A-B)	0	10,262	10,262
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>・利用料金が計画額より減額したのは、物産館工事の影響により貸室利用ができなかったことによる減額です。</p>		

3. 施設利用の状況

(単位：人)

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	むつ来さまい館	70,000	93,159	23,159
	むつ下北観光物産館	22,500	363	△22,137
	むつ市イベント広場	10,000	10,570	570

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)

・貸室の部屋数が少なく、予約が取れない。

【対応】物産館の改修工事やテナントの移転に伴い、使用できる貸室が減少しており、お断りすることが多くなっております。利用者には現状を説明し、別日や時間をずらした場合の館の空き状況をお伝えしてご提案するなど、情報提供に努めております。

・館内が涼しく、涼みどころとして利用。

【対応】夏季の涼みところとしてご利用いただいておりますが、冬季もバスを待つ方などが施設内で待たせてほしいと要望があり、空きスペースに臨時的に椅子を並べるなどして対応いたしました。

4. 自主事業の実施状況

(単位：人、千円)

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
フリーマーケット	1,600	131	0
文化展	405	0	0
①パッチワーク展	(140)		
②水彩画サークル海作品展	(170)		
③「青森の海と川をきれいにする運動」入賞作品 展示(協力)	(95)		
ふれあいフェスタ&ハンドメイドマルシェ	550	38	283
体験館	830	19	67
①夏休み体験館	(480)		
②冬休み体験館	(350)		
飲食楽祭ビアガーデン	800	5	216
ハロウィンイベント	1,000	90	220
来さまい橋通り装飾事業(イルミネーション)	-	0	482
冬まつり	750	8	228
ふるさと公演『クリスマスコンサート』	90	0	169
下北郷土芸能公演	432	0	308
①白糠勇清倶楽会	(104)		
②栗山太神楽保存会	(158)		
③柳町共進組	(170)		
音楽活動支援事業	15	55	24
路線バス定期・回数券販売	647	86	0
むつおもちゃ病院	61	0	0
むつまちづくり(株)連携事業 「来さまい館教室」	115	0	45

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準

- A (優良) : 計画された業務水準を大きく超える独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。
 B (適正) : 計画された業務水準を概ね達成した。
 C (要改善) : 計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	A

6. 指定管理者総合評価

<p>㊦ 指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。</p> <p>(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設特別清掃（休館）や業者点検等を、利用者に影響の少ない時期や時間帯で実施しました。 館内にアンケート用紙を設置し、寄せられた施設利用者の声を職員内で共有しました。設備の要望については検討し計画的に導入していきたいと考えています。 <p>(2) 利用促進に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ等で施設利用者へむけた情報提供の充実に努めました。 施設見学時の受け入れ体制を整え（ガイド派遣等）、市内の小学校へ社会科見学で利用いただけるようリーフレットを作成して配布を行いPRに努めました。
--

・自主事業では、施設の老朽化やテナントの入居等により利用できるスペースの減少もあり、例年通りの開催は難しくなりましたが、現状でできることを工夫しながら、企画運営に努めました。市内で活動する団体、サークル、学生等と連携し、郷土芸能の公演やコンサート等をはじめ、イベントには地元で活動するサークル等に出演いただくなど、賑わいを創出するとともに地域の方に施設を利用いただく機会につながるよう努めました。

・バス運行企業と連携し通学者向けバス乗車券の受け取り場所として利用いただくなど、市民の利便性向上に努めました。

(3) 効率性の向上に関する取組み状況

・施設の老朽化に伴い大規模な修繕が増えていますが、所管課と優先度を考慮・協議のうえ計画的に行い施設管理に努めました。

修繕時にはテナント関係者、施設利用者へ不便のないよう、調整・周知をいたしました。

・軽微な修繕については、職員で対応できるものは適宜行い、快適性の向上に努めました。

(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況

・机やイスなど備品の補修は適宜行い、利用者の快適性の向上に努めました。

・展示スペース等の見回りを一定時間毎に行い、破損や機器の不良がないか確認しました。

・利用者の様々な要望に応えるべく、備品の補充、充実を図りました。

(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況

・施設利用者間の希望を聴取し時間や使用備品の調整、事前リハーサルへの対応など円滑な利用ができるよう配慮に努めました。

・老朽化等の理由により危険と思われる設備についてはすみやかに使用を中止し、施設を安全に利用いただくため注意喚起の表示を行う等安全対策に努めました。

・利用者には備品や設備の使用方法などを説明し、必要であれば職員が対応する等、適正・安全に使用いただけるように努めました。

・緊急時対応マニュアルを作成し、カウンターに設置して職員各自が役割を確認し、迅速に対応できるよう備えました。

7. 市の所管課総合評価

④所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況

開館時間や臨時休館日の設定については、利用者や事業者に配慮して適切に実施され、使用許可に関する電話対応等についても、利用者に寄り添った接客マナーを心がけ円滑に対応しておりました。また、利用者からの御意見や施設周辺のクレーム対応については、市と協議のうえ、適切に対処しておりました。

(2) 利用促進に関する取組み状況

むつ来さまい館やむつ市イベント広場での自主事業の実施を通じ、市内で活動する団体等と連携して、賑わいを創出する取り組みを行い、メディアの取材を受けるなど、施設利便性を高める効果に努めていたものと評価しております。

(3) 効率性の向上に関する取組み状況

軽微な修繕について、職員で対応し施設管理経費の低減を図っているものと評価します。収入増加については、近年利用が減少している調理室やミニギャラリーの利用増加や収益の見込める事業の検討に取り組み、市の活性化に取り組んでいただきたい。

(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況

関係法令に基づき、各種設備の点検について遅滞なく実施されており、適切に対応いただいていると評価しております。施設の老朽化や経年劣化が著しい設備については、今後も市との連携を密にし、修繕箇所の優先度を考慮のうえ、利用者及び入居団体に支障がでないように、適切な維持管理・運営に努めていただきたい。

(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況

利用者への情報提供や個人情報保護、危機管理体制は適切であると評価します。